

令和元年度 学校評価アンケートの結果及び分析

12月に実施しました学校評価アンケートの結果を保護者アンケートの回答と3年生以上の児童の生活アンケート、及び学校職員の自己評価を比較しながら分析いたしました。学校経営における3本の柱（確かな学力・豊かな心・健やかな体）を中心に学校経営や地域連携等について、今年度、特に大切にされたことや課題としたいこと等について、成果と課題の両面から記述してあります。様々なご意見や集計結果を客観的にとらえ、次年度に活かしていきたいと考えています。

<表の見方>

- ・数字は、5点を最高点とした評価得点の平均値を表しています。
- ・平均が4.5以上を評価が高いと捉え青字で、4.0未満を課題と捉え赤字で記しました。

1 学校教育目標・学校経営に関わって

(1) 学校教育目標の具現に関わって

	アンケート質問の文面	平均評価値
保護者	・学校は教育目標具現に向けて意識的に取り組んでいる。	4.42
児童	・楽しく学校生活を送ることができていますか。	4.63
	・学校や学級をよくするためにみんなで仲良く協力して何かをやりとげ、うれしかったことはありますか。	4.75
職員	・学校教育目標具現に向けて意識的に取り組んでいる。	4.25

「学校生活は楽しい」と捉えている児童が、9割以上います。「学校生活は楽しくない」と回答した児童は一人もいません。自尊心や自己肯定感の高い児童が多いことがよく分かります。「出し切る」の合い言葉のもと、やりとげた体験ができたと感じていると思われます。本校が重点として取り組んできた「自分を出し切り 笑顔いっぱいの学校」に向けて、推進できていると考えられます。

(2) 指導の方法に関わって

	アンケート質問の文面	平均評価値
保護者	・学校職員は子どもたちに寄り添い、一人一人と関わるなど互いに協力し合い、一丸となって子どもたちを育てようとしている。	4.40
児童	・失敗を恐れず挑戦し自分の力を出しきることができましたか。	4.64
	・時間を守る、正しく廊下を歩く、トイレのスリッパをそろえるなど、学校のきまりを守って生活できていますか。	4.14
職員	・児童に寄り添い、全校一人一人の児童と関わる等、教職員が協力し合い、一丸となって子どもたちを育てようとしている。	4.58

「出し切る」「見つめる」を合言葉に取り組んできました。「出し切る」ことの大切さは、児童にもしっかり定着していることが高い評価から伝わってきます。全職員が一枚岩となり、全教育活動を通して児童を育てようと指導し続けた成果が表れています。児童の「きまりを守って生活している」が、やや低い評価となっています。今後も全職員が引き続き一枚岩となり、良いことは褒め、良くないことに対しては毅然とした態度で指導を徹底させていくことが大切であると考えています。

2 確かな学力に関わって

(1) 授業に関わって

	アンケート質問の文面	平均評価値
保護者	・学校は、分かりやすい授業づくりに心がけ、子どもたちに基礎的、基本的な確かな学力を身につけさせようと努力している。	4.25
	・子どもは、授業が楽しい、分かりやすいと感じている。	4.11
児童	・授業の中でわかったこと、できるようになったことが増えましたか。	4.84
	・授業はわかりやすく、楽しいですか。	4.64
職員	・少人数であることのメリットを活かした「出し切る」授業を実践するために、授業の工夫・改善を図り(教材研究)、日々の授業に臨んでいる。	4.33
	・子どもたちに基礎的、基本的な確かな学力を身に付けさせている。	4.08

児童の評価は、とても高いです。「授業内容が分かりやすく、楽しい」「授業を通して、分かったことやできるようになったことが増えたよ。」と捉えている児童が多いことが分かります。その反面、保護者や職員の評価はやや低いといえます。職員サイドから検証すると、少人数であることのメリットを活かした授業の工夫・改善をさらに進める必要があると捉えていると考えられます。そして、児童に確かな学力をさらに身に付けさせたいという使命と願いが表れています。今後も、職員自らが納得できる授業を目指して研鑽を積み、児童に確かな学力を身に付けさせていきます。

(2) 読書に関わって

	アンケート質問の文面	平均評価値
保護者	・子どもは、日常の読書活動を通して本の楽しさを味わっている。	3.83
児童	・読書は楽しいですか。また、自分から本をたくさん読むことはできましたか。	4.57
職員	・朝読書や日頃の読書活動を通して本の楽しさを味わわせている	3.92

児童は、「読書は楽しく、本をたくさん読んだ。」という視点で捉え、高い評価です。しかし、保護者や職員では、全体を通して一番低い評価となっています。家庭では、本の楽しさを味わっている児童の姿があまり見られないのかもしれませんが、職員サイドから検証すると、漫画を含んだ本を読んでいる児童が多いこと(活字離れ)や読む・読まないの個人差が大きいこと等の質にポイントを置いているといえます。読書は、知識の豊かさばかりではなく、創造力を高め、心の豊かさを育みます。今後、学校と家庭が連携して、読書活動の充実に努めていく必要があると考えます。

(3) 家庭学習に関わって

	アンケート質問の文面	平均評価値
保護者	・学校と家庭が連携し、進んで家庭学習に取り組む習慣を身に付けさせている。	3.87
児童	・家では宿題や自主学習など、言われなくても自分から取り組んでいますか。	4.30
職員	・家庭と連携し、進んで家庭学習に取り組む習慣を身に付けさせている。	4.08

確かな学力の定着のためには、家庭学習の充実は不可欠です。学校では継続して指導していますが、保護者も職員も高い評価ではありません。児童のアンケートには家庭学習時間を答える項目があり、3～6年生の平均が約50分となっています。問題と言えるのは、時間ではなく、「自主性(進んで)」や「質(内容)」と捉えます。ドリル学習による基礎的な学力の定着を図りながら、自主学習等による主体的な学びを進める必要があると考えます。授業の工夫・改善のみではなく、家庭学習の充実に重要な課題と捉え、取り組んでいきます。

3 豊かな心に関わって

(1) 温かい集団づくりに関わって

	アンケート質問の文面	平均評価値
保護者	・学校は、子どもがお互いの良さを認め合える温かい集団づくりに努めている。	4.36
児童	・いじめはどんな理由があっても、やってはいけないことだと思いますか。	4.93
職員	・児童がお互いの良さを認め合える温かい集団づくりに努めている。	4.42

ほとんどの児童が、「いじめはどんな理由があっても、やってはいけない。」と捉えています。しかし、学校生活においては、仲間を傷つける言動が見られることがあります。本年度、人権教育推進校として、全ての教育活動において人権教育を進めました。今後も、お互いの良さを認め合える温かい集団づくりに努めていきます。

(2) 正しい言葉遣い・礼儀正しさに関わって

	アンケート質問の文面	平均評価値
保護者	・学校は、挨拶や礼儀正しさ、正しい言葉遣いにこだわるとともに、子どもたちが実践できるような指導に努めている。	4.06
児童	・呼び捨てはせず、友だちとていねいな言葉や温かい言葉でやりとりができましたか。	4.41
	・自分から進んであいさつをしたり、ありがとうの言葉が言えたりしましたか。(先生・友だち・家族・地域の人の)	4.86
職員	・挨拶や礼儀正しさ、正しい言葉遣いにこだわるとともに、子どもたちが実践できるように働きかけている。	4.08

挨拶や正しい言葉遣い・礼儀正しさについては、保護者、職員とも評価がやや低くなっています。児童の意識としては、挨拶はよくできている。言葉遣いも、それほど悪くなく、良いといえます。保護者の方の意見では、学校の中では挨拶はできているが、地域ではあまりできていないということです。また、言葉遣いもよくないということです。正しい言葉遣いや礼儀正しさは、周りの環境の影響が大きいです。学校・家庭・地域が連携を取りながら、改善を図っていく必要があります。

4 健やかな体に関わって

(1) 遊びの楽しさや遊びを工夫する力に関わって

	アンケート質問の文面	平均評価値
保護者	・学校は、遊びの楽しさや友だちと関わって遊ぶことの楽しさを味わえるように、遊びを工夫する力をつけるように努めている。	4.36
児童	・晴れた休み時間には外へ行き、友だちと楽しく元気いっばいに遊んだり運動に取り組んだりできましたか。	4.70
職員	・進んで運動ができる子を育てるために、体育の授業やすこやかタイム、昼休みにおける運動や遊びを工夫する力をつけるように努めている。	4.25

「友だちと楽しく元気いっばいに遊んだり、運動に取り組んだりできた。」と捉えている児童が多く、評価が高いです。若手の職員を中心に、複数の学年の児童が一緒になって遊ぶ姿もよく見られます。今後も、外遊びを集団づくりの一つとして大切にし、仲間関係を醸成する場として位置づけた指導を心がけていきたいです。また、その中で、遊びを工夫する力を付けることができたかと考えます。

(2) 基本的生活習慣に関わって

	アンケート質問の文面	平均評価値
保護者	・学校は、歯科衛生、食育、生活習慣づくりについて、計画的に取り組み、健康づくりを図る指導に努めている。	4.47
児童	・一日を元気に過ごすために、早ね・早起きをして、朝ご飯を食べたりトイレに行ったりすることができましたか。	4.45
	・テレビやゲームは時間を決めてやっていますか。	4.43
職員	・歯科衛生、食育、生活習慣づくりについて計画的に取り組み、健康づくりを図る指導に努めている。	4.42

児童・保護者・職員とも、ほぼ同じ評価値となっています。給食後の歯みがきを中心に年間を通した「歯科衛生指導」、家庭との連携による長期休業明けの「生活リズムチェック」、授業やPTA母親委員会による「食育の指導」等の取組の成果が、評価に表れていると考えます。また、今年度も児童と保護者を対象に「情報モラル研修」を実施し、情報モラルへの意識を高めています。今後も、学校と家庭が連携しながら、基本的生活習慣の育成に努めていきます。

5 その他(地域との連携、個別支援、情報発信など)

(1) 心配な児童に対する対応に関わって

	アンケート質問の文面	平均評価値
保護者	・学校は、健康面(体調不良など)で心配な児童、生活面で心配な児童、または継続的にケアが必要と思われる児童に対して保護者と連絡を取り、綿密な連携の中で指導を行うよう努めている。	4.23
	・困ったことや悩み事があったとき、学校は相談しやすく親身になって聞いてくれる。	4.08
児童	・相談や悩みなどがあるときは、先生や友だち、親に相談することができていますか。	4.54
	・学校の先生は困ったときに相談すると、しっかりと聞いてすぐに助けてくれますか。	4.84
職員	・問題行動や心配な言動、体調不良等の児童、または継続的にケアが必要と思われる児童の保護者と連絡を取り、保護者との綿密な連携のもと指導を行うよう努めている。	4.17

児童の職員に対する信頼感は高いことが結果から伝わってきます。継続できるようにしていきます。保護者の中には、やや相談しにくいと捉えている方がいます。保護者の皆様から一層信頼される学校になるために、さらに対応の仕方を考え、保護者の皆様との連携を大切にしていきます。今年度、これまでに(2学期終了時)80人全員が登校できた日が51日ありました。こうした状況が継続できるように家庭とも連携し、職員が一丸となって取り組んでいきます。

(2) 地域の人材活用に関わって

	アンケート質問の文面	平均評価値
保護者	・学校は、生活科・総合的な学習の時間(ふるさと学習)等で地域の人材(学習支援者・ゲストティーチャー)を効果的に活用し、授業を仕組むよう努めている。	4.34
職員	・生活科・総合的な学習の時間やふるさと学習等での地域の人材(学習活動支援者・ゲストティーチャー)を効果的に活用し、授業を仕組むように努めている。	4.33

本校は、総合的な学習の時間等で積極的に地域の人材を活用しています。FBC(フラワー・ブラボー・コンクール)では、昨年度は大賞、今年度は環境大臣賞を受賞しましたが、地域の皆様のご協力があってこそその成果であるといえます。今後も、地域の人材を効果的に活用し、ふるさと東白川に根ざした教育を推進していきます。

(3) 学校からの情報発信に関わって

	アンケート質問の文面	平均評価値
保護者	・「学校だより」「学級通信」「HP」によって、学校、学級の様子を分かりやすく伝えている。	4.53
職員	・「学校だより」「学級通信」「HP」によって、学校、学級の様子を分かりやすく伝えている。	4.67

保護者も職員も、評価が高い項目です。定期的に学校だよりや学級通信を発行することに加えて、HPで児童の学校での様子を発信してきました。(昨年度のように毎日発信することはできませんでしたが・・・)今後も積極的に情報を発信していきます。

<全体を通して>

- 本校の児童は、学校生活を楽しんでいると感じ、「出し切る・見つめる」の合言葉のもと、やりきった体験ができたと感じていると思われます。自尊心や自己肯定感が高い児童が多いです。これは、学校・家庭・地域が協力し合い、一丸となって子どもたちを大切に、育ててきた成果です。
- 全体的にどの項目も平均評価値が高いです。学校の教育活動に対して、保護者の皆様が理解を示し、常に協力的で支えていただいている表れであると感謝しています。
- 読書活動や家庭学習・言葉遣い・礼儀正しさの指導の充実がより一層求められています。学校内だけの取り組みでは十分な成果が得られにくいものでもあるので、学校・家庭・地域がより密に連携して取り組んでいく必要があると考えられます。

<保護者からの意見・要望 → 回答>

○いつもありがとうございます。

○いつも先生方に子どもをとて大切に頂きありがたく思っています。一人一人の子どもの性格を理解して接して下さり、うれしく思います。今後も、よろしくお願いします。

○学校の先生方だけではなく、バスの運転手の方も子どもたちのことを気にかけて見守って下さり、ありがたいです。

○人数が少ないからこそ他の学年との関わりや先生との関わりが深いと感じています。

○学校での様子を通信などでしっかり教えてくれています。ありがとうございます。

○いつもありがとうございます。学校での様子を細かく聞きたい時もありますが、今のところとても楽しく学校に通っているので、先生方のおかげだと思っております。これからも、子どもたちを守り、指導をよろしくおねがいします。

○いつも子どもたちに寄り添って頂きありがとうございます。小学校の先生方は、いつも楽しそうにうれしく思います。今後ともよろしくお願いします。

▽分団で一人ぼっちで歩いている子を見ました。まだ、1・2年生くらいだと思います。登下校の様子をもっと把握してほしいと思います。

⇒ **バスを降りて自宅に向かう時に、1人になる児童がいることは確かです。各学級や分団会で登下校の様子を再確認し、必要に応じて指導させていただきます。**

▽自宅での言葉遣いが悪いです。下品な単語や「おまえ」「～ねえよ」等。おそらく同級生や上級生の言い方をまねしているのでしょうか……。授業中など先生方が近くにいる時は使わないと思いますが、もしできましたら、休み時間等の子どもたちだけでいる時間帯も耳をそばだてていただけるとありがたいです。

⇒ **基本的な生活習慣や人権教育の視点から、礼儀や言葉遣いについては日頃から指導しております。しかし、学校生活においても礼儀正しくない姿や良くない言動が見られたりすることがありますので、繰り返し指導している段階です。休み時間等すべての時間において、子どもたちを見届けることは難しいですが、可能な限り子どもたちに寄り添い、「良くないことは良くない。」と毅然とした態度で指導していきたいと考えております。**

▽村外（他の市町）の小学校との交流をお願いします。例えば、3・4年生での音楽会など。

⇒ **長年、「山・川・海のつながり」を学ぶ活動の一環として、4年生を中心に三重県桑名市の城東小学校と交流を進めています。現状としてさらに増やすことは難しいと考えられます。確かに他校との交流は有意義な活動であると思っておりますが、交流を行うためには事前や事後の学習も必要となり、時間がかかります。また、相手校とのニーズの一致や調整が必要となります。今後、教育活動を進める上で、他校との交流の必然性が生じてくるのであれば検討させていただきます。**

▽クラスの通信は、教務や教頭、校長先生がチェックしてから配布しているか疑問……。忙しいと思いますが、誤字・文章表現等を添削して（見直して）ほしいと感じたことがある。

⇒ **チェック機能が十分に機能していないことにより、保護者の皆様に不快な思いを抱かせてしまったことを深くお詫び申し上げます。学校や学級から配付する文書に関しては、教務主任や教頭、校長が誤字や文章表記等をチェックしてから印刷し、配付するように心がけておりますが、チェックが不十分であったことを反省しております。今後は、チェック機能を強化し、より正しく分かりやすい文章表記となるように心がけていきたいと考えております。**

▽家庭訪問はあった方がよいと思います。特に4月ではなくても、5・6月でもあると、先生との距離が近くなるように思います。（家でなくても、学校へ保護者が出向いてもいいかもしれません。）

⇒ **本年度は授業時間数の確保等の関係で、家庭訪問を行いませんでした。来年度も、英語の教科化に伴う授業時間数の増加があり、家庭訪問を実施しない予定です。保護者様の意見にもありましたように、「先生と保護者の距離感」というのは教育活動を進める上でとても大切なことは間違いありません。そこで、来年度は、夏休みの個人懇談をすべての児童対象に行い、保護者の皆様との懇談の機会をもちたいと考えております。学校と保護者の皆様が共に考え、共通認識のもと、子どもたちを育てていくことを大切にしていきます。**

▽学校ではあいさつができて、他ではあいさつができない子が多い。学校以外でも、自分から自然にあいさつができるといいなあと思います。

⇒ **「学校ではあいさつができて、学校を離れるとあいさつができなくなる。」という声を聞くことがあります。学校では、児童会や生徒指導担当の職員が中心となり、あいさつを広める働きかけをしております。あいさつは、「いつでも どこでも だれにでも」できることが大切です。あいさつは、学校ですればいいものではなく、家庭でも地域でもするものです。学校と家庭、地域が連携して、あいさつができる子どもたちを育てていくことが大切です。**

▽学習内容が変化し、iPad などノート・教科書以外に使用することも増えてくるとは思いますが、あきらかに家でもゲームやパソコン等使っていると、姿勢が崩れているので、iPad を使用する時も姿勢に気を付けて学習できるようにしていただくとありがたいです。（学校で初めて使用する子もいると思うので。）

⇒ **どの担任も、学習時（話す・書く・聞く等）の姿勢には、こだわって指導を進めております。iPad を使用する時も当然学習の時間ですので、姿勢に気を付けて指導しております。今後は、保護者様の意見を参考に、さらに気を付けて指導に当たっていきたくと考えております。**

※ 保護者の皆様から、貴重なご意見をいただいたことに深く感謝しております。本校の教育活動に対する期待の大きさを感じ、教職員一同「使命と責任」をもって、日々の指導に邁進していきます。尚、いただいたご意見は、次年度の教育活動に活かしていきたいと考えております。ありがとうございました。